

議題（２）日曜・祝日の実証運行について

1. 平成 25 年度オレンジゆずるバス休日運行の経過について

運行改正

【平成 25 年 5 月 26 日】

- 休日の新たな実証運行開始



【平成 25 年 10 月】評価に伴う各種調査の実施

- 市民アンケート調査
- バス利用者アンケート調査
- バス乗降調査



【平成 25 年 11 月～12 月】

結果：休日の実証運行を継続

実証運行継続の理由

休日の運行は、地域での買物・娯楽活動等を支える重要な交通手段を担っていることから、買物・娯楽活動等における市内移動を確保するため、平成 25 年 5 月より休日限定の新たな実証運行を行った。しかし、利用者数が当初の需要予測を下回り、また、効率性・効果性の低い運行となっている。

1 年間の実証運行の結果をみると、本来であれば、休日運行は「廃止」となり、見直し基準を踏まえたルート削減、減便等を行っても収支率の目標値に届かない。しかし、自分たちでバス交通を維持・発展させるとい意識を持ち、公共交通について地域で考え行動するという趣旨のもと、これまで自治会で利用促進を行ってきた事例もあるように、市民が主体的に利用者数増加に向けた改善策の行動を起こすことを前提に、見直し基準の結果も踏まえた運行ルートに見直し、社会実験を 1 年間のみ行う。

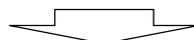
実証運行継続の条件：①1 年間のみの実証運行とする

- ②実証運行を継続し、改善がみられなければ次年度は「廃止」とする。



【平成 25 年 12 月～3 月】

- 休日運行ルートの見直し・休日運行の決定等



【平成 26 年 5 月 11 日】

- 休日の新たな実証運行開始

休日運行状況の把握・評価、見直し検討

休日運行の決定

運行改正

2. 休日運行の収支予測（計画時）について

【運行経費】

見直し後（平成 26 年度）の休日限定の実証運行に係る運行経費は、年間 10,195 千円と想定される。

※運行ルート・ダイヤ・バス停位置などの最終変更により、多少前後する。

【収入】

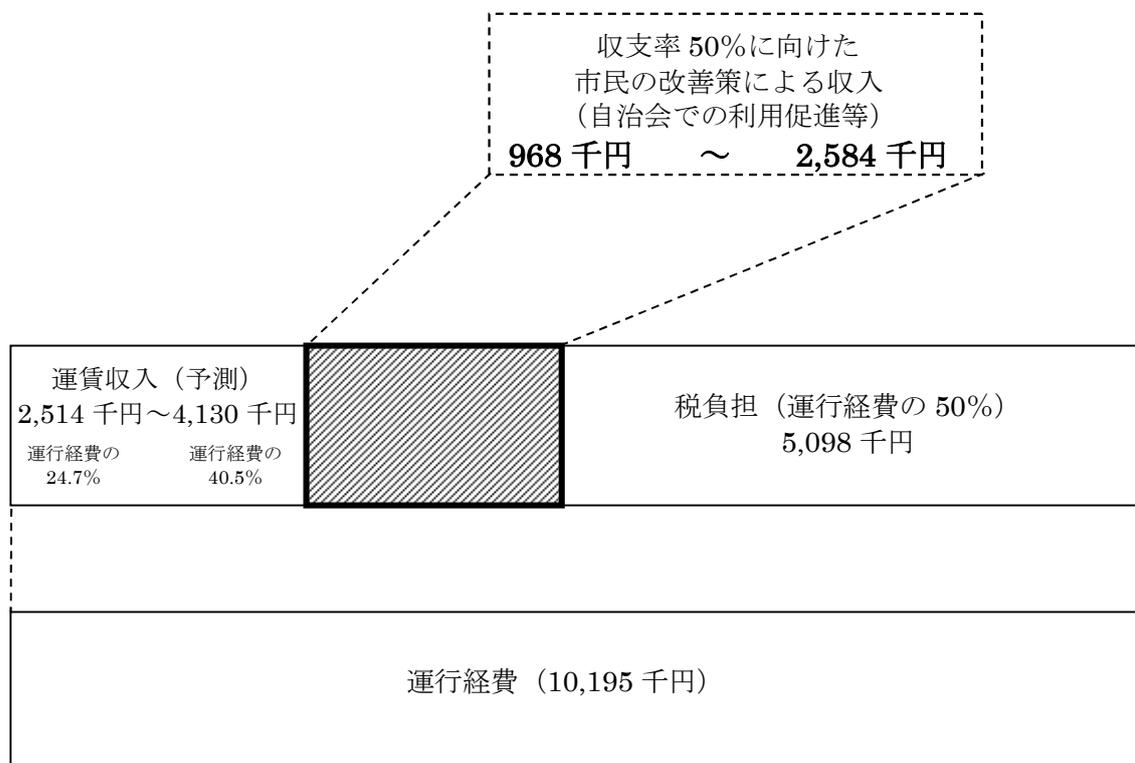
現行の利用状況などを踏まえると、1 日あたりの利用者数は、297 人～488 人と推測され、運賃収入は年間 2,514 千円～4,130 千円になると想定される。

【収支計画】

見直し後（平成 26 年度）の休日限定の実証運行にあたっては、継続して適切な運行経費の範囲のもとで事業を行うことが必要である。運行経費と収入予測による収支率は、24.7%～40.5%と推測され、現状の約 22.2%を上回っているが、50%には届かない。

そのため、収支率 50%を超えることを目標に、市民が主体的に利用者数増加に向けた改善策の行動を起こすものである。

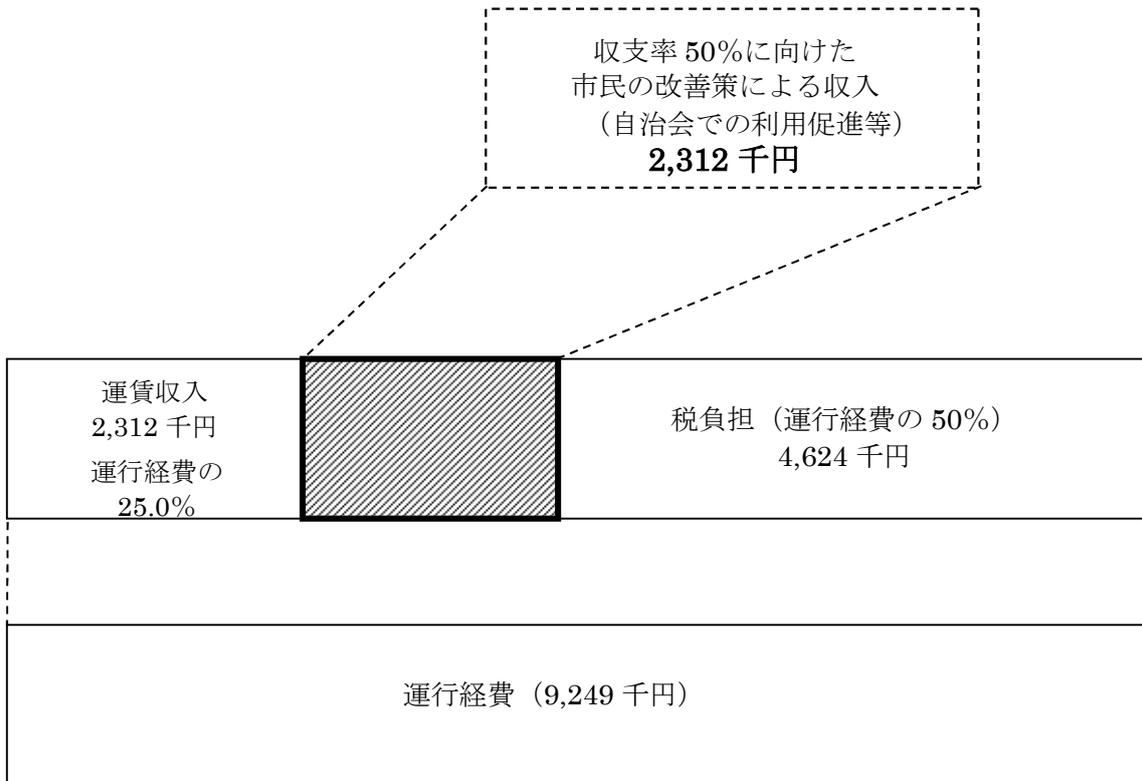
収支計画フレーム（想定）



資料：第 22 回箕面市地域公共交通活性化協議会（平成 25 年 12 月）

3. 休日運行の収支状況

① 5月の実績に基づく収支予測



※収支予測は平成 26 年 5 月 11 日～平成 26 年 5 月 31 日の運行実績を基に算出

② 収支率 50%に向けた必要運賃収入

不足額	1日あたり 必要運賃収入
2,312 千円	37 千円

